

会 告 (案)

低温工学・超電導学会 2019年度第2回材料研究会のご案内

福島第一原子力発電所事故から8年が経過し、除染廃棄物の処理や再生利用に向けた技術がますます重要になってきています。また原子炉敷地内での廃炉作業は新たな局面を迎え、これまでに経験したことのない状況の中で、周辺住民や作業者の十分な安全を確保しながら廃炉を遂行するには乗り越えるべき複雑な課題が多くあります。そこで、オンサイト・オフサイトの両面から、原発事故に関連する廃棄物の減容・再生利用技術等に関する講演会とディスカッション、並びに福島における除染廃棄物の現状を視察いただける見学会を企画しております。基礎研究から応用分野に携わる研究者・学生の方々まで多数のご参加をお待ちいたしております。

■**テーマ**：福島原発事故後の現状と求められる技術 ―超電導技術の応用可能性―

■**日 時**：2019年7月26日（金）、27日（土）

■**場 所**：見 学 会（1日目）：東京電力福島第一原子力発電所（双葉郡大熊町）

中間貯蔵工事情報センター、中間貯蔵施設（双葉郡大熊町）

シンポジウム（2日目）：コラッセふくしま 4階 401会議室

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号

■**参加費**：無料（ただし見学会のお弁当代1,500円程度、および懇親会費5,000円程度の実費はご負担頂きます。）

■**プログラム**（見学は予定、講演タイトルは仮題を含む）：

7月26日（金）見学会（見学可能人数には制限がございます。お早目にお申し込みください。）

10：00 仙台空港 国内線到着口集合、貸切バスにて出発（車内にて昼食）

11：30頃 見学① 東京電力福島第一原子力発電所（双葉郡大熊町、双葉町）

15：15頃 見学② 中間貯蔵工事情報センター、中間貯蔵施設（双葉郡大熊町）

18：50頃 JR 福島駅到着

7月27日（土）シンポジウム

9：30～9：40 開会の挨拶（材料研究会）

9：40～10：20 講演① 福島大学共生システム理工学類 河津 賢澄 特任教授
「福島県内の環境回復と中間貯蔵施設等の現状」

10：20～10：30 休憩

10：30～11：10 講演② 東京電力HD 福島第一廃炉推進カンパニー 溝上 伸也様
「東京電力福島第一原子力発電所炉内状況の分析と評価」

11：10～11：50 講演③ 大阪大学大学院工学研究科 牟田 浩明 准教授
「燃料デブリ取り出しを容易にするゲル状充填・塗布材の開発」

11：50～12：10 総合討論

12：10～12：20 閉会の挨拶（関西支部）

共 催：低温工学・超電導学会 関西支部、電気学会「磁気力を活用した新たな環境技術のフィージビリティと超電導の役割」調査専門委員会

オーガナイザー：材料研究会 秋山 庸子（大阪大）、酒井 保藏（宇都宮大）

お申込・問合せ先：秋山庸子 yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp

*資料、見学等の準備のため、参加ご希望の方は、ホームページに掲載の申込書に必要事項を記載の上、6月28日(金)までに秋山までメールにてお申し込みください。(事前手続きの関係で、期限厳守にてお願いいたします)。

https://www.csj.or.jp/materials/2019/2nd_0726-ApplicationForm.docx

*見学定員30名のため、見学に関しては定員に達した時点で締め切らせていただきます。

*往復のご移動、および26日のご宿泊（JR福島駅付近が便利です）については各自ご手配ください。相馬野馬追の時期ですので、ご宿泊をご予定の方はお早めにご予約ください。

*懇親会、お弁当代に関しては領収書の発行はいたしませんのでご了承ください。